



学び舎（松島中学校だより）

令和5年度 第10号 令和5年7月14日（金）

文責 校長 松田 真也

突然、雨が降り出したかと思うと、日差しが照りつけ蒸し暑さが増すというような、予測しづらい天気が続きました。

今年の梅雨もいよいよ終わりのようです。一斉に蝉（セミ）が鳴き出しました。同時に夏休みのスタートです。

「蝉の声 教科書 ノートに 入り込む」

教室で授業を受けている子どもたちは、そんなセミの声に気づいているでしょうか。気づいた子は、学習内容よりも、楽しみな夏休みに思いを馳せているかもしれません。

「汗ぬぐい 仰ぐ 山から そびえる雲」



球根ペゴニア

7/12 授業参観、学年懇談会 お世話になりました。

1学期末の授業参観と学年懇談会を行いました。あいにくの天気で、グラウンドに駐めた車から体育館までの移動では大変ご苦労をおかけしました。それにも関わらず、多くの保護者の皆様、（およそ6割）学校運営協議会の皆様にお越しいただきました。ありがとうございました。

「命を大切にすることを育む月間」に関する道徳の授業を見ていただきました。それぞれの学級では、日頃は意識せずに生活しているけれど、改めて自分と近くにいる人の「命」の大切さについて考えたり、いかに家族に愛されて生活しているかを感じたりする時間となりました。



1年生の授業風景

1年生「あなたはひかり」から

○作者は「あなたはひかり 輝く地球の 一粒のひかり」と言っている。なぜ？

○「いのち」を形で表すとどんな形？

○自分の「いのち」をどんな形にしていきたい？

○もっと輝かせるために、大切にしていきたいことは？

先生の問いかけに答えながら、「いのち」を輝かせるために精一杯生きていくことについて考えました。



なのはな学級の授業風景

なのはな学級「いただいた命」から

- ある日、突然、病気にかかり、生きられなくなったと聞いたら、どうしますか。
 - 白血病から救われた主人公や家族は、どんな気持ちだったでしょう。
 - 自分の「いのち」は、**誰のもの**ですか。
- 病気になったとき、心配してくれる**家族**。いただいた自分の命を**大切に生きる**ことを考えました。



2年生の授業風景

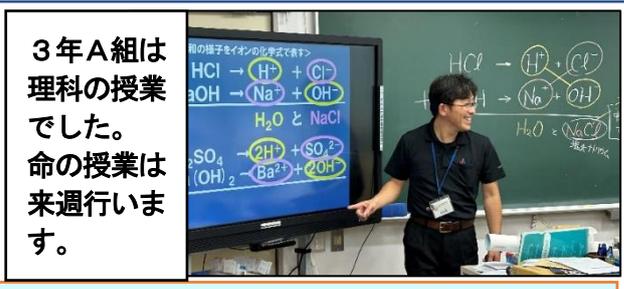


2年生「たったひとつのたからもの」から

- ダウン症、心臓の病気で、**長くは生きられない**と言われた「秋雪くん」。お母さんの気持ちは・・・。
 - 秋雪くんを入院中のおじいちゃんの所へ、リスクはあるが、連れて行く？連れて行かない？
 - 秋雪くんが、何年も生きられたのは、どうしてでしょう。
- 秋雪くんの話しから、**自分の命について**考えたことや、**今の思い**を交流しました。



3年B組授業風景



3年A組は理科の授業でした。命の授業は来週行います。

3年生「人間の命とは — 人間の命の尊さ、大切さを考える」から

- 病気で意識がもどらない娘。献身的に介護をした両親。家族は、**延命措置**を打ち切ると申し出たが、医師や裁判所は却下した。だが、医療を拒否する権利は認められ、結果、生命維持装置は外された。
 - 医師や裁判所の判断は正しいのか。本人の意志は分からない状態で延命措置はどうすべきか。
- 人間の命をどう考えるか**、大きく・重いテーマについて、考えました。

【保護者の皆様へ】

- 学期末の配付プリントや**提出**いただくものが沢山あります。よろしくお願いします。
- 学年懇談会の折りにご要望いただき、**月行事予定表**（7、8月分）をホームページにアップしました。今後も、月ごとにアップしてまいります。ご確認ください。
- 8月23日（水）17：00～の**PTA美化作業**、8月24日（木）18：30～の**PTA親睦ミニバレー大会**への参加よろしくお願いします。関係の委員の皆様、大変お世話になります。